

T14SG/FX-22 ソフトウェアアップデート方法

T14SG/FX-22 は Futaba WEB サイト <http://www.futaba.co.jp/> からデータをダウンロードして最新のソフトへ変更することができます。

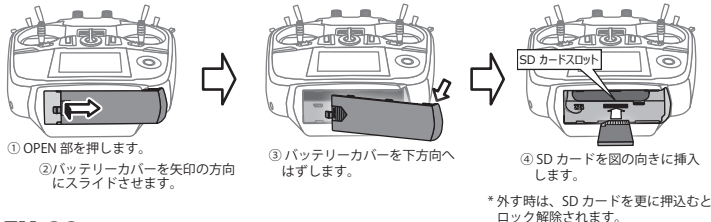
[アップデート手順]

※インターネットが使えるパソコン、SD カードリーダー、SD カードが必要です。

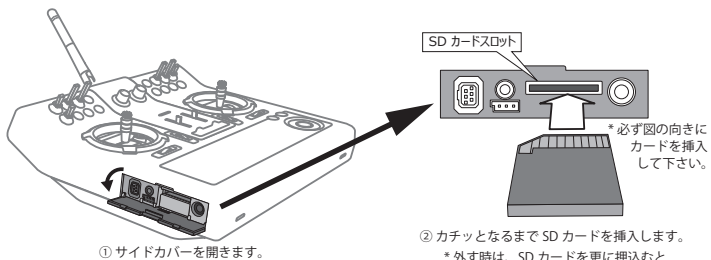
1. アップデート用 SD カードの作成

1. 市販のSD カードを T14SG/FX-22 でフォーマットします。SD カードに入っていたデータは削除されますのでご注意ください。

T14SG:



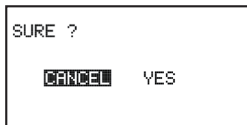
FX-22:



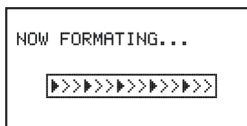
2. SD カードを上図のように挿入してから、送信機の電源を ON します。フォーマットされていない SD カードの場合右の画面がでます。タッチセンサーをスクロールして "FORMAT" を選択して "RTN" を押します。



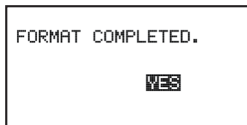
3. "YES" を選択して "RTN" を押します。



4. フォーマット中は "NOW FORMATING..." の表示がでます。そのままお待ちください。



5. フォーマットが完了すると右の画面がでます。送信機の電源を OFF して SD カードを取り出します。



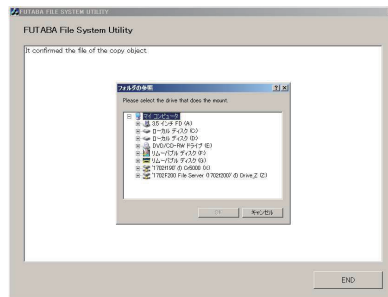
2. SD カードへアップデートデータをコピーする。

1. Futaba WEB サイトからダウンロードした T14SG (FX-22 も共通で、T14SG のアップデートデータを使用します。) のアップデートデータを展開 (圧縮ファイルを右クリックして解凍) してください。展開すると以下の 6 個のファイルが作成されます。

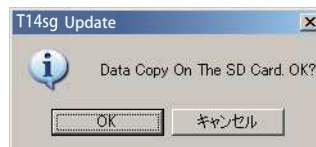
- T14sgUpdate.exe
- T14sgUpdate.dat
- T14SG_UPDATE.dat
- T14SG_TS.bin
- T14SG_AP.bin
- T14SG_UPLD.bin

2. さきほどフォーマットした SD カードをパソコンの SD カードリーダーに挿入します。

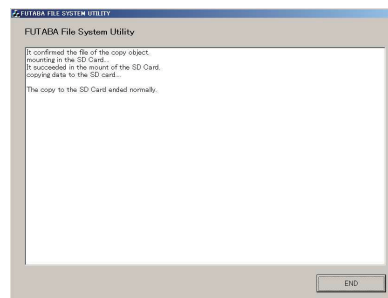
3. 1. で作成した "T14sgUpdate.exe" を実行してください。以下の画面が表示されます。



4. パソコンの「フォルダの参照」ウィンドウから SD カードをセットしたドライブを選択して、パソコンの「OK」ボタンにカーソルをおきクリックしてください。



5. コピーが完了すると以下の画面が表示されます。パソコン画面の「END」ボタンにカーソルをおき、クリックして終了してください。



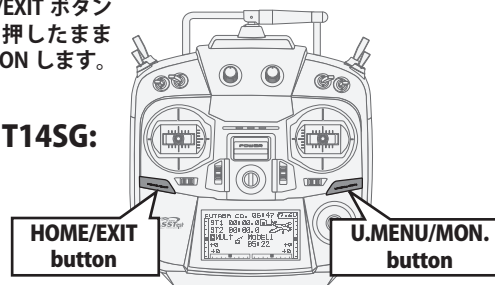
6. エクスプローラーでカードのアイコンを右クリックして「取り出し」を選択し、SD カードを取り出せる状態にしてから SD カードをカードリーダーから取り出してください。

3. T14SG/FX-22 をアップデートする。

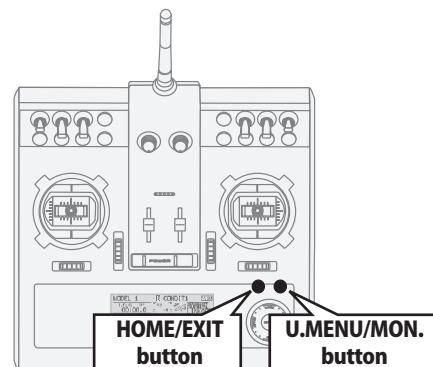
1. アップデートファイルの入っている SD カードを送信機に挿入します。

2. 送信機の HOME/EXIT ボタンを先に押して、押したまま電源スイッチを ON します。

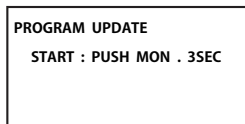
T14SG:



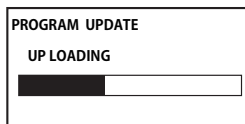
FX-22:



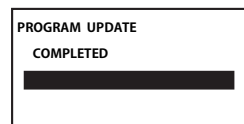
3. 数秒後に右の画面がでます。



4. U.MENU/MON. を 3 秒間押し続けるとアップデートがはじまります。しばらくお待ちください。

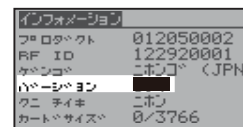
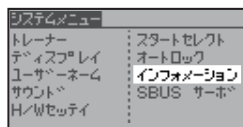


5. アップデートが完了すると "COMPLETED" がでます。送信機の電源を OFF します。



6. SD カードをとりだします。

7. 再度送信機を ON して、システムメニューのインフォメーションでバージョンが最新になっているのを確認してください。



T14SG/FX-22 音声ソフトのインストール方法

T14SG/FX-22 音声ソフトは Futaba WEB サイト <http://www.futaba.co.jp/> からデータをダウンロードしてインストールすることができます。音声が必要な場合はインストールする必要はありません。

- テレメトリーデータを音声で聞くためには T14SG/FX-22 に音声ソフトをインストールする必要があります。
- 本体ソフトと別に音声ソフトのインストールが必要です。音声ソフトは Futaba の WEB サイトからダウンロードします。
- 本体ソフトを V2.0 以降にアップデートしなければ音声ソフトは使用できません。
- 音声ソフトは日本語、英語があります。送信機にはどちらか 1 つしかインストールできません。
- 音声データを変更しても、送信機の表示言語は変わりません。
- 音声は送信機のイヤホンジャックに市販のφ 3.5 プラグのイヤホンを接続してください。それ以外から音声はできません。
- インターネットが使えるパソコン、SD カードリーダー、SD カードが必要です。
- 本体のソフトウェアが Ver.4.x の場合、音声ソフト Ver.1 の音声データは再生できません。本体のソフトウェアを Ver.4.x にアップデートした後、音声データは Ver.2 をインストールしてください。

[音声ソフトのインストール手順]

1. T14SG/FX-22 でフォーマットされた SD カードへ音声ソフトをコピーする。

1. お持ちのパソコンで、Futaba WEB サイトからダウンロードした T14SG/FX-22 の音声アップデートデータを展開 (圧縮ファイルを右クリックして解凍) してください。展開すると以下の 6 個のファイルが作成されます。

日本語版 :

- ・ T14sgInstallSoundJpn.exe
- ・ T14sgUpdate.dat
- ・ T14SG_INSTALL_SOUND.dat
- ・ T14sgSpeechJpn1.bin
- ・ T14sgSpeechJpn2.bin
- ・ T14sgSpeechJpn3.bin

英語版 :

- ・ T14sgInstallSoundEng.exe
- ・ T14sgUpdate.dat
- ・ T14SG_INSTALL_SOUND.dat
- ・ T14sgSpeechEng1.bin
- ・ T14sgSpeechEng2.bin
- ・ T14sgSpeechEng3.bin

2. T14SG/FX-22 でフォーマット (前項参照) した SD カードをパソコンの SD カードリーダーに挿入します。

3. 1. で作成した "T14sgInstallSound***.exe" を実行してください。

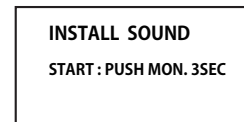
4. パソコンの「フォルダの参照」ウィンドウから SD カードをセットしたドライブを選択して、パソコンの「OK」ボタンにカーソルをおきクリックしてください。

5. コピーが完了したら、パソコン画面の「END」ボタンにカーソルをおき、クリックして終了してください。

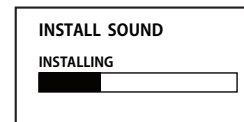
6. エクスプローラーでカードのアイコンを右クリックして「取り出し」を選択し、SD カードを取り出せる状態にしてから SD カードをカードリーダーから取り出してください。

2. T14SG/FX-22 に音声データをインストールする。

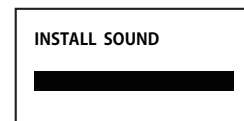
1. 音声データの入っている SD カードを T14SG/FX-22 に挿入します。
2. T14SG/FX-22 の HOME/EXIT ボタンを先に押して、押しのまま電源スイッチを ON します。
3. 数秒後に次の画面がでます。



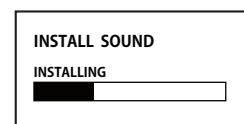
4. U.MENU/MON. を 3 秒間押し続けるとインストールがはじまります。しばらくお待ちください。



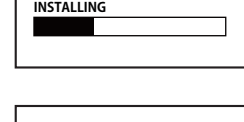
5. 約 16 秒で画面のバーが終了し、再度スタートします。そのままお待ちください。



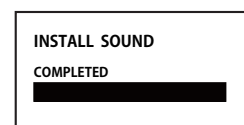
6. 今度はバーがゆっくり進みます。



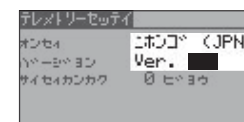
7. 約 2 分ほど時間がかかります。絶対に電源を OFF しないでください。



8. 完了したら (COMPLETED の表示) SD カードをとりだします。



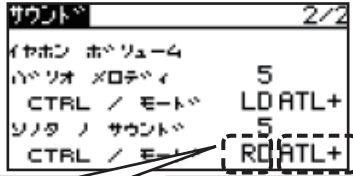
9. リンケージメニューのテレメトリーセッテイのバージョンが変わっているのを確認してください。



このソフトウェアアップデートにより、次の機能が追加または変更されます。本セットに付属の取扱説明書を読み替えてご使用ください。

1. サウンド (イヤホン音量) (対応モデルタイプ: 全モデルタイプ)

パリオ・メロディー以外の音量を、スイッチやレバーなどで調整できるようにしました。



パリオ・メロディー以外の音量調整用ハードウェア

パリオ・メロディー以外の音量調整用ハードウェアの動作モード

音量設定範囲: 0 (消音) ~ 30 (最大)

- ◆ 音量調整用のハードウェアを選択できます。
- ◆ 最小音量 (消音) から上記で設定した音量までハードウェアで可変できます。

設定範囲: J1, J2, J3, J4, T1, T2, T3, T4, SA, SB, SC, SD, SE, SF, SG, SH, LS, LD, RD, RS, (SI, SJ) ※ () は FX-22 のみ

- ◆ 音量調整用ハードウェアが設定されている場合、動作モードを選択できます。

[ATL+]: ハードウェアの動作方向の左 / 上 / 反時計回転方向が最小音量で、反対方向が最大音量となります。

[ATL-]: ハードウェアの動作方向の右 / 下 / 時計回転方向が最小音量で、反対方向が最大音量となります。

[SYM.]: ハードウェアのセンター位置が最小音量で、両サイドが最大音量となります。

2. テレメトリーセッテイ (テレメトリー・データのログ機能の一時停止スイッチの追加) (対応モデルタイプ: 全モデルタイプ)

テレメトリー・データのログ機能に、一時停止スイッチを追加しました。



テレメトリー・データのログ機能の一時停止スイッチ

テレメトリー・データの保存中、テレメトリー・データのログ機能の一時停止スイッチを ON すると、テレメトリー・データのメモリー・カードへの保存が中断されます。テレメトリー一時停止スイッチを OFF すると、保存のインターバル時間を経過していれば、テレメトリー・データの保存を再開し、同一ファイルに書き込みます。

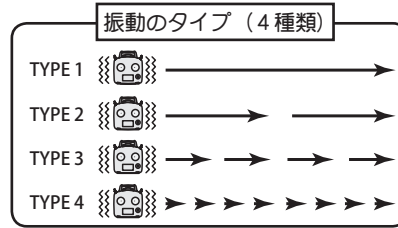
3. コンディション切替時のバイブレータ設定を追加 (対応モデルタイプ: ヘリコプター・グライダー)

コンディションを切替えた時、バイブレータでコンディションが切替ったことをお知らせします。

ヘリの設定例		グライダーの設定例	
コンディション	ノーマル	コンディション	ノーマル
ノーマル	タイプ 1	ノーマル	タイプ 1
アイドルアップ1 SE	タイプ 2	スタート SE	OFF
アイドルアップ2 SE	タイプ 3	ストップ SE	タイプ 2
アイドルアップ3 SF	タイプ 4	ディスタンス SF	タイプ 3
ホールド	OFF	ランディング SG	タイプ 4

バイブレータ設定
振動のタイプを選択できます。

優先順位変更
ボタン



※ バイブレータの特性上、コンディション切替後、やや遅れてバイブレータが起動します。

4. エルロン・ディファレンシャルに微調整機能を追加 (対応モデルタイプ: 飛行機・グライダー)

エルロン・ディファレンシャルのレート設定に、微調整機能を追加しました。

飛行機 (2AIL) の設定例 (1/2 ページ)



微調整値を含む、実際の動作レート

飛行機 (2AIL) の設定例 (2/2 ページ)



コンディション毎に設定可

微調整操作のボリュームやレバーの動作モード。
微調整操作のボリュームやレバーが設定されると表示されます。
設定範囲: LIN. / ATL+ / ATL- / SYM.

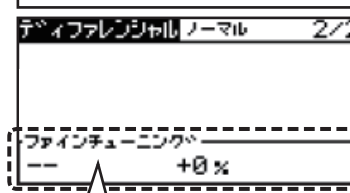
微調整操作のボリュームやレバーを設定

微調整用のレート
設定範囲: -100 ~ +100%

グライダー (4AIL) の設定例 (1/2 ページ)



グライダー (4AIL) の設定例 (2/2 ページ)



コンディション毎に設定可

【微調整ボリュームの動作モード】

- [LIN.]: ボリュームのセンターでミキシング微調整量 0% ボリュームを左右に回すとミキシング量が増減します。
- [ATL+]: ボリュームの左端または右端でミキシング微調整量 0% ボリュームを回すとミキシング量が増えます。
- [ATL-]: [ATL+] の左右反転動作。
- [SYM.]: ボリュームのニュートラルで微調整量 0% 左右に回すとミキシング量が増えます。

5. エルロン・ディファレンシャル バタフライ・アジャスト (対応モデルタイプ: グライダー)

エルロン・ディファレンシャルのバタフライ・アジャスト機能の動作を変更しました。

上げ舵：エルロン・ディファレンシャルの設定レートにバタフライ・アジャスト・レートを乗算した値を、エルロン・ディファレンシャルの設定レートから減算したレートが実際の動作量となります。

下げ舵：エルロン・ディファレンシャルの設定レートと100%との差分にバタフライ・アジャスト・レートを乗算した値をエルロン・ディファレンシャルの設定レートに加算したレートが実際の動作量になります。

- ※ バタフライ・アジャスト・レートが「+」のとき、上げ舵を絞りと下げ舵が増す方向となります。
- ※ バタフライ・アジャストレートが「-」レートのとき、上げ舵と下げ舵の計算方法と動作方向が逆になります。
- ※ 主翼タイプが、無尾翼の2AILのときは、バタフライ・アジャストを表示しないようにしました。(バタフライ・ミキシングが無いため)
- ※ バタフライ・アジャストの動作開始ポイントが、バタフライ・ミキシングの開始ポイントとズれていた不具合を修正しました。

6. エルロン→ラダーに微調整機能を追加 (対応モデルタイプ：飛行機・グライダー)

エルロン→ラダーのレート設定に微調整機能を追加しました。

微調整値を含む、実際の動作レート

コンディション毎に設定可

グライダーは、現在のコンディション名を表示

微調整作用のボリュームやレバーの動作モード。微調整作用のボリュームやレバーが設定されると表示されます。設定範囲：LIN./ATL+/ATL-/SYM.

微調整作用のボリュームやレバーを設定

微調整用のレート
設定範囲：-100 ~ +100%

7. キャンバ・フラップ→エレベーターに、3ポイント動作機能を追加 (対応モデルタイプ：飛行機・グライダー)

キャンバ・フラップ→エレベーターに、従来動作に加え、D/R設定と同様の3ポイントカーブ機能を追加しました。キャンバ・フラップをスイッチで動作せる場合、エレベーターへのミキシングが容易にできます。

- ◆従来動作…モードA
- ◆追加機能3ポイントカーブ動作…モードB

【モードA】(従来と同じ動作)

- ・ミキシングのマスターは、キャンバ・フラップのD/R計算後の値です。

ミキシングレート
設定範囲：-120 ~ +120%

動作しているレートを示します。

モードを変更すると、ミキシングレートが初期値(0%)になります。

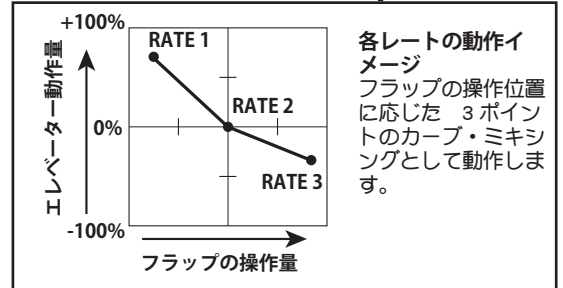
【モードB】(追加した動作)

- ・ミキシングのマスターは、キャンバ・フラップのコントロールの値です。

動作しているレートを示します。
キャンバ・フラップの操作にレバーやダイヤルを設定している場合、↓が2つ表示される場合があります。その場合、↓表示のあるレート間でリニアに動作します。



モードを変更すると、ミキシングレートが初期値(0%)になります。



8. バタフライ(バタフライ→エレベーター) (対応モデルタイプ：グライダー)

バタフライのエレベーター設定に、微調整機能を追加しました。

微調整作用のボリュームやレバーの動作モード。微調整作用のボリュームやレバーが設定されると表示される。設定範囲：LIN./ATL+/ATL-/SYM.

微調整作用のボリュームやレバーを設定

微調整用のレート
設定範囲：-100 ~ +100%

実際の動作レート

微調整作用のスイッチやレバー、ダイヤルなどを表示

- ※ 主翼タイプが、無尾翼のとき、エレベーター設定の微調整機能は表示されません。(無尾翼の場合、エレベーターのレート設定が無いため)

9. タイマーのカウント・ダウンの音声出力 (対応モデルタイプ：全モデル・タイプ)

タイマーの音声出力が、FASSTest でないときも出力するようにしました。

10. FASSTest LINK 動作時のブザー音 (対応モデルタイプ：全モデル・タイプ)

Ver.4.1(FX-22用)で、FASSTestのLINK動作時のブザーのメロディー音のテンポが速くなってしまったのをもとに戻しました。

11. トレーナー8CHモード時のCH9～CH12の動作 (対応モデルタイプ：全モデル・タイプ)

CH9～CH12が使用可能なFASST MULTIモードまたはFASSTest 14CHモードのとき、トレーナーの8CHモードで、CH9～CH12の動作モードを"NORM"に設定した場合、CH9～CH12が動作しなかった不具合を修正しました。

●本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。●本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。●本書の内容は万全を期して作成していますが、万一不明の点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。●お客様が機器を使用した結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。